

■日時 令和3年8月18日(水) ■天候 晴れ

大川学園高校・通 対 天理高校

■球場 大田スタジアム 第3試合 準決勝

■試合時間 1時間31分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:山崎 塁審:大和 竹本 前田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5										計	安	失
大川学園・通	埼玉	0	0	0	1	0										1	3	2
天理	東近畿1・奈良	1	6	3	0	1										11	8	0

大川学園・通		ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	遊			山村 祐輝	3	0	0	0	投ゴ		投ゴ		三振						
2	中	捕		伊崎 大空	2	0	0	0	四球		遊ゴ		投ゴ						
3	投	一		豎山 凌	2	1	1	0	三振			右3							
4	三			田中 希実	2	0	1	1		中安		遊ゴ							
5	右			船木 力稀斗	2	0	0	0		中飛		三ゴ							
6	二			原信田 海斗	2	0	0	0		三振		三ゴ							
7	一	投		坂本 宏斗	1	0	0	0		四球			三振						
8	捕			青木 和範	1	0	0	0		三振									
8	打			秋葉 風太	1	0	1	0					左安						
8	走	中		西村 優凜	0	0	0	0											
9	左			根本 和希	1	0	0	0			三ゴ		四球						
合計					17	1	3	1	残塁:4 併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
豎山 凌	青木 和範
坂本 宏斗	伊崎 大空

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
豎山 凌	3	23	8	1	6	8	89
坂本 宏斗	1	2/3	9	0	4	1	41

天理		ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	2	3	4	5					
1	捕			佃 隆人	1	3	1	1	左2	四球		四球		四球					
2	遊			森 脇 達紀	2	1	1	2	投犠	中安		中犠		右飛					
3	中			片山 陽平	2	1	1	2	四球	三ゴ		中安							
3	中			矢部 理澄	1	0	0	0						中飛					
4	右			沖 勇輝	3	1	2	2	三振	右2		遊安							
4	二			溝淵 貴太	0	0	0	0						四球					
5	一			有木 直也	2	0	0	0	二ゴ	四球		投飛		死球					
6	投			有本 義人	3	0	0	0		二飛	三ゴ		三飛						
7	左			堀田 良之	2	2	2	0		中2		中2	四球						
8	三			堀田 仁	1	2	0	0		四球		四球	遊ゴ						
9	二	右		丸木 聖悟	2	1	1	1		投安		中犠	一ゴ						
合計					19	11	8	8	残塁:7 併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
有本 義人	佃 隆人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
有本 義人	5	20	3	5	3	1	79

■戦評

準々決勝に引き続き大田スタジアムで行われた準決勝は大川学園高校・通信制と天理高校の対戦となった。大川学園の不戦勝を除けば全試合を二桁得点によるコールドで勝ち上がったチーム同士の戦い、試合は好ゲームが予想された。先攻の大川学園は初回2番伊崎が四球で出塁し二盗を決め捕手からの送球が逸れる間に三塁を狙うが憤死となり先制機を逃す。その裏天理は先頭の佃が二塁打で出塁すると2番森脇が手堅く犠打で送り相手のミスから1点を先制する。2回天理は7番堀田良の二塁打を足掛かりに4番沖の適時二塁打など打者10人攻撃で6点を追加すると3回9番丸木2番森脇の犠飛などで3点を奪い10-0と大差をつける。追い込まれた大川学園は4回先頭の3番豎山が三塁打を打ち内野ゴロの間に生還したが、反撃もここまで。5回天理は四球で出塁した1番佃が暴投により生還し試合終了。5回コールド11-1で天理が勝利し、連続優勝へ王手をかけた。一方敗れた大川学園は初回の先制機と2回先頭の4番田中の安打から作った同点機を生かせず大敗となってしまった。しかしながら1、2回戦で見せたような隙の無い走塁を中心にチーム一丸となって戦い抜くその姿は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないであろう。